

[illegible]

3 学 期	【知識及び技能】 「知」曲想や音楽の構造や歌詞など音楽の構造を理解している。 「技」創意工夫を活かした発声を身に付けるために曲にふさわしい発声や体の使い方などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりを理解して自らのイメージをもって表現することが出来る。音色について考え、リズムを知覚して生き生きとし演奏する表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 表現や鑑賞などに関わってくる音や音楽及び文化に対して関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	「アカペラ」 ・教科書 『合唱祭の自由曲』 『ふるさと』	○	【知識及び技能】 創意工夫を活かした発声・音の出し方を身に付けている。正しい音色やリズムなどの知識を身に付け演奏できている 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や歌詞との関わりを理解してイメージをもって表現している 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声・演奏法・楽譜の読み方などを身に付け、学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている	○	○	○	12
		「鑑賞・ミュージカル」 ミュージカルの代表作品を鑑賞してミュージカルの歴史への理解を深める ・MUSIC NOTE、Flat for Education ・一人1台端末の活用	○	【知識及び技能】 様々な楽器の音色を知覚し、作曲者の時代背景などを理解しその楽曲の良さを味わいながら鑑賞できている。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲における速度や強弱などの要素を知覚しその働きを感受しつつ味わい鑑賞できている。 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞した際の自らの感じた感想を解りやすい表現で的確に文章として表すことができる。	○	○	○	4 合 計 70

使用教科書：（ 高校生の美術 1（日文） ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する科目の特質について理解すると共に、意図に基づいて表現するための技術を身に付けるよう

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わった理することが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、心豊かな情操を培う。

科目 美術 I	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、表現の目的や意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的な表現の構想を練ることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	「櫛木祭ポスター制作」 【知識及び技能】 ポスターの役割や造形的な視点について理解を深め、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生成した主題のイメージや全体のデザインの機能や効果について考えを深め、創造的に構想する。 【学びに向かう力、人間性等】 ポスターデザインが伝える役割やその特性を生かして主体的に創作活動に取り組む。	【指導事項】 ポスターの役割について解説し、水張りを行う。タイトルとテーマの関連性を確認し、レイアウトを行う。 【教材】 プリント、ワークシート、B3木製パネル、ケント紙、ハケ、水張りテープ 【一人1台端末の活用】 ポスターデザインについて調べ、表現の成り立ちを知り、アイデア収集を行う。				○	○		○	○	○	18
	「キャラクターデザイン」 【知識及び技能】 所属部のイメージを多角的な視点で捉え、意図に応じてビジュアル面のデザインを工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 部活イメージの形態を活かして性格や色彩を考え、テーマに合わせて創意工夫しゆるキャラに落とし込む。 【学びに向かう力、人間性等】 キャラクターデザインに主体的に取り組み、他者に発想や形の良さと面白さを伝えようとする。	【指導事項】 キャラクターデザインについて理解する。ワークシートを用いてコンセプト、テーマカラー等、構想を練ってアイデアを出し、アイデアシートに清書する。 【教材】 ワークシート、アイデアシート、色鉛筆、マジック 【一人1台端末の活用】 著作権について調べた上で、色の組み合わせや色彩の効果を理解し、他者に与える印象の違いについて学ぶ。				○	○		○	○	○	8
2 学 期	「キャラクター立体制作」 【知識及び技能】 粘土の扱い方を学び、芯材への肉付けの技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 形態を活かしたポーシングを考え、イメージと合致させ、創意工夫して粘土立体を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 材料や道具を効果的に使い、見通しを持って制作を進めていく。	【指導事項】 粘土の扱い方について、色の混ぜ方や保存方法について理解する。ポリウム感の再現や表面を丁寧に仕上げる工夫について学ぶ。 【教材】 粘土、アクリル絵具、粘土ヘラ、保存袋、アルコール、霧吹き、キッチンペーパー 【一人1台端末の活用】 造形の知識を端末を利用して学ぶ。				○	○		○	○	○	14
	「絵画制作」 【知識及び技能】 絵の具の使い方を理解し新しい技法に挑戦する。 【思考力、判断力、表現力等】 食べ物という身近なテーマをもとに、社会問題や異なる時代や文化を考えコンセプトを練る。 【学びに向かう力、人間性等】 テーマに対して独自の視点を持ち、見方や感じ方を深める。	【指導事項】 基本的な道具の使い方やパーツの作成方法について学ぶ。形や色の組み合わせで変わる印象や、彩度と明度の構想を練る。 【教材】 画用紙、絵の具、クレヨン 【一人1台端末の活用】 造形の知識を端末を利用して学ぶ。				○			○	○	○	14
	「コラージュ制作」 【知識及び技能】 雑誌や新聞などを切り抜き一つの画面に配置し表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 手を動かしながら得た発想や視覚的な発見を制作に繋げる。	【指導事項】 平面と立体の中間の表現ができることを伝え、参考作品を提示する。 【教材】 色紙、ハサミ、デザインカッター、ボンド、のり、針金				○	○					16

[illegible]

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科

科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（書道 I（東京書籍））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現方法や形式、多様性について理解している。 中学校書写の学習を基盤として更なる書写能力を身に付ける。	芸術科書道としての表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。	積極的に書の幅広い活動に取り組み、主体的な鑑賞に取り組もうとする姿勢・態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わりについて理解している。 書体や書風と用具用材との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆全体の構成を工夫している。 漢字と仮名の調和した字形や文字の大きさに注意を払って構成している。 意図に基づく表現の工夫をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 表現や鑑賞に関わってくる書及び書文化に対して関心を持ち、主体的・積極的に学習に取り組んでいる。	硬筆の学習 □正しい姿勢・ペンの執筆法 □基本点画 □筆順・部首名 漢字の書 ☆楷書の基本点画・用筆法 □唐の四大家に学ぶ楷書の基本 □書道の歴史・書体の変遷 □唐の4大家（初唐の3大家） ☆九成宮醴泉銘の鑑賞と臨書 ☆孔子廟堂碑の鑑賞と臨書 ☆雁塔聖教序の鑑賞と臨書 ☆自書告身の鑑賞と臨書 ☆牛嶽造像記の鑑賞と臨書			○		【知識及び技能】 基本点画、字形の取り方を習得している。 正しい筆順を習得し、字形を整えて書くことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい筆順や字形を意識して、主体的に学習に取り組むことができる。	○		○	6
	【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わりについて理解している。 書体や書風と用具用材との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆全体の構成を工夫している。 漢字と仮名の調和した字形や文字の大きさに注意を払って構成している。 意図に基づく表現の工夫をしている。 【学びに向かう力、人間性等】 表現や鑑賞に関わってくる書及び書文化に対して関心を持ち、主体的・積極的に学習に取り組んでいる。	毛筆の学習 □行書の筆順・部首の変化 □行書の歴史 □行書の特徴 ☆行書の基本点画・用筆法 ☆蘭亭序の鑑賞と臨書 毛筆の学習 □日本の行書（三筆・三蹟の書） ☆風信帖の鑑賞と臨書 □隸書の基本点画・用筆法 □曹全碑の鑑賞 ☆曹全碑の臨書 □篆書の基本点画・用筆法 □泰山刻石の鑑賞 ☆泰山刻石の鑑賞と臨書 □古典を生かした創作 ☆漢字四字熟語創作			○	○	【知識及び技能】 古典の書風の特徴を捉えて、臨書を行うことができる。 古典の書道史的な価値や評価を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 古典の特徴に即した表現になるように工夫することができる。 古典の良さや書之美を味わいながら鑑賞することができる。 【学びに向かう力、人間性】 鑑賞したことや工夫したことを分かりやすい言葉で文章化できる。 【知識及び技能】 古典の書風の特徴を捉えて、臨書を行うことができる。 古典の書道史的な価値や評価を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力】 古典の特徴に即した表現になるように工夫することができる。 古典の良さや書之美を味わいながら鑑賞することができる。 【学びに向かう力、人間性】 鑑賞したことや工夫したことを分かりやすい言葉で文章化できる。 集中して臨書活動に取り組むことができる。	○	○	○	20
2 学 期					○	○		○	○	○	28

[illegible]